

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年12月20日(2018.12.20)

【公表番号】特表2016-513515(P2016-513515A)

【公表日】平成28年5月16日(2016.5.16)

【年通号数】公開・登録公報2016-029

【出願番号】特願2015-562358(P2015-562358)

【国際特許分類】

A 6 1 J 15/00 (2006.01)

A 6 1 M 16/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 J 15/00 A

A 6 1 M 16/06 D

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年10月30日(2018.10.30)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 3】

図45～49を参照すると、マウスピース700の一実施形態は、一体型の構成要素として形成することができ、Y字状の口腔内管材702、逆止弁720を有する入口管704、1対の耳ループ706、又は他の支持デバイスを含む。耳ループ706の一方の端部は、口唇受部730を画定する口唇の輪郭のウイング708に成形することができ、自由端部710は、ウイング708上のレセプタクル712内へ挿入し、それによって捕獲することができる。このようにして、耳ループ706の長さは、自由端部710をレセプタクル712に出し入れして動かすことによって調整することができる。別法として、耳ループは、連続する調整不可のループとして構成することができる。追加の位置保持力を提供するために、複数の戻り止め714などの係合部材をループ内へ成形することができる。係合部材は、たとえば、ループの長さに沿って複数の溝又は隆起として構成することができる。